



発行こいで義一後援会 事務所〒475-0828 半田市瑞穂町 5-3-18 ☎0569-58-0967

編集責任者こいで義一 連絡所〒475-0078 半田市新池町 2-201-22 ☎0569-29-0616

発行日平成26年7月20日



浸水・液状化の被害対策が必要!!



瑞穂区有志の方々と弥富市を訪問

新たな愛知県の被害想定を踏まえて…

5月30日に愛知県は、大規模地震に対する独自の被害想定を発表しました。今回の発表では、大規模地震発生時に堤防は決壊し、浸水と津波との複合水害が想定されるということです。決壊による浸水の想定地域は、下の地図の通りです。浸水地域の大部分は地面が液状化する危険度が高いとされており、避難行動が制限されることを想定した具体的な対策が必要です。



堤防決壊時に浸水が予測される地域

弥富市防災安全課を訪問して…

瑞穂区有志の皆さんと弥富市防災安全課を訪ね、この対策を立てるために必要なお話をお聞きしてまいりました。弥富市は市の全域がおよそ海抜0[㌢]で、水害対策について様々な取り組みをしており、お話の主なところは以下の通りでした。

- ①津波高潮緊急時避難場所は市民全員が避難できるよう、マンションの通路・階段・踊り場なども含め43カ所指定している。
- ②液状化の可能性を踏まえ、より近くてより高いところへの避難を第一に考える。
- ③液状化した地域の下水管は壊滅的な損傷が予測され、長期間水を流せないことを想定し簡易トイレを各家庭で用意しておく。

この他にも、多くの事をお聞きすることができました。基本的な部分の再認識も含めて、しっかり勉強させて頂きました。

非常用トイレセット (汚物袋付き)

【60回分凝固剤入り】

天然ゼオライトとヤシ酸活性炭のダブルパワーの消臭効果!!

天然ゼオライト入吸水ポリマー

ヤシ酸活性炭 × 天然ゼオライト

地域の共助が問われるとき !!

堤防決壊時に浸水があり液状化の可能性が高い地域については、建物の倒壊がなければ2階への避難で津波からも逃れることができると考えられます。但し、建物の倒壊の可能性がないとは言えないので、地域の実情に合わせて防災計画を見直していただく必要があると思います。この計画の中に、近くて高い緊急時避難場所の確保も是非入れて進めて頂きたいと思います。





駅周辺の自転車放置をなくしましょう!!

名鉄半田口駅・JR 亀崎駅・同半田駅・同東成岩駅の 4 駅周辺は、自転車等放置禁止区域に自転車が停められています。原因は、2つあります。亀崎駅と半田駅は、残念ながらマナーの問題です。駐輪場のスペースは足りているのですが、利用者が駅近くに停めてしまうからです。ルールは守って頂きたいと思います。

半田口駅と東成岩駅は、明らかに駐輪スペースの不足が原因です。これは、設置者の問題です。鉄道を利用する人のための駐輪場の設置責任は、本来なら鉄道事業者側にあると思います。しかし、実際は自治体が市民サービスとして対応しています。これまでは、無登録かつ無料で駐輪場を設置してきました。言い換えれば、気軽に自転車で出かけ駅の近くの歩道に駐輪させているともいえる状況です。



上：歩道にはみ出ている東成岩駅

下：民家前まで駐輪している半田口駅



登録制にしてスペースがない場合は駐輪できないとするか、必要なら有料になるが駐輪場を用意するかどうかのどちらかの対応が必要だと思います。どこかで“受益者負担”の考え方を入れないと、無償提供のために市が土地を用意しては駐輪場を利用しない人に対しては不公平です。ちなみに、現状の駐輪台数は9つの駅を合わせて、約3000台です。既存の駐輪場の利用者と格差が生じても問題があるので、当面は登録制にして利用者の実態の把握に努め、必要があれば有料の駐輪場を用意するようになりたいと思います。写真の様に、歩道に自転車があふれている状況を早く解消したいと思います。

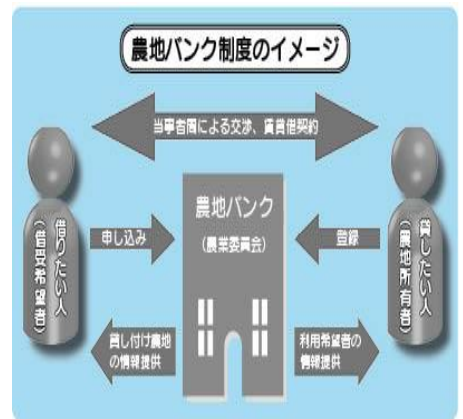
←上：以前の状況 下：マナー改善ができた JR 半田駅

農地バンクで

耕作放棄地の利用促進を!!

全国的に農業従事者は高齢化しており、65 才以上が 60%を占めていると云われています。後継者不足が深刻で、毎年耕作放棄地が増えています。現在半田市では 30 %の耕作放棄地があり、今後も増え続けることが予測されます。放置された農地は病気も虫も発生し放題。それが周囲の農地に広がって大変なことになってしまいます

一方、農地法改正を機に農業生産法人によって、新たな農業への取り組みが各地で進んでいます。不要になった農地情報を新たな利用者に提供することができれば、有効活用ができます。この問題を解決するのか、農地バンク制度です。既に愛知県でも名古屋市・豊田市・豊川市・日進市などこの制度を導入しており、半田市も制度の導入を進め耕作放棄地を有効活用したいものです。



連絡先: TEL090-8070-8327 FAX0569-29-0616